

表彰

ベストアイデア賞（優勝）は、 NUAS BOYS に決まりました！

地域の困りごとを学生の力で解決する提案をした、名古屋学芸大学の2人組「NUAS BOYS」がベストアイデア賞に選ばれました。



第2位は栄徳高校生徒会チーム、第3位は淑徳大学生「Baby」でした！



第2位は、若者が長久手の豊かな自然の魅力を広げるイベントを季節ごとに実施する提案をした「栄徳高校 生徒会チーム」、第3位は、子どもに「愛」や「人権」について学ぶイベント開催を提案した、「Baby」でした。
どのチームの発表もすばらしく、最後は会場全員で出場チームを讃えました！

アンケートより

■ 今日特に「気づいたこと」や「発見したこと」は？

- ・ アイディアの柔軟性に驚いた。
- ・ 学生たちの「チャレンジしたい」をサポートするのが大人の役目であり、押しつけるのではなく寄り添うと良いかも。
- ・ アイディアを実現してほしいし、継続することが最も大切。
- ・ まさか、泣けちゃうとは思っていませんでした。
- ・ 皆さんのプレゼンテーション能力やまちづくりに対する意識の高さに感心しました。



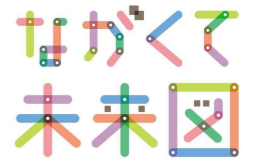
■ 自由意見

- ・ 選手宣誓も良かったし、発表の内容で、何度も熱いものがこみあげてきました。
- ・ ぜひ、この発表で終わりにするのではなく、地域の活動に参加してほしいです。
- ・ こんなにしっかりと、まちのことを考えられる学生が長久手にいることを誇りに思います。
- ・ 若者らしく元気はつらつで、すがすがしかった。
- ・ 発表を聞いて、私もまちづくりに参加したいと思いました。

今後の予定 「市民まちづくりプラン」づくりに向け、一緒に考えませんか？

学生から提案されたまちづくりアイデアは、現在策定を進めている第6次総合計画（ながくて未来図）の、『市民まちづくりプラン』の内容をつくる際の参考とします。まちづくり甲子園に出場した学生たちには引き続き市民まちづくりプラン策定のためのワークショップ等に参加してもらう予定です。

第6次総合計画づくり事業



長久手市学生まちづくり甲子園 を開催しました！

2018.3月発行長久手市経営企画課



2018年2月10日（土）

10:00~12:00

福祉の家 2階集会室 観覧者 105名

長久手の未来を担う高校生、大学生で結成された6チーム（29名）が、まちづくりのアイデアを発表し競い合う「長久手市学生まちづくり甲子園」が開催されました。

イベント当日は100名を超える観覧者が訪れ、暖かい拍手や歓声の中、学生たちは緊張しつつも、これまで考えてきたまちづくりのアイデアを発表しました。

これまでの歩み

学生たちがまちづくりのアイデアを考え始めたのは昨年秋のこと。それから3回のワークショップやリハーサルを通じて交流しながら、アイデアを深めていきました。



第1回ワークショップ
10月28日

10年後に残したい
長久手の「宝物」
は何だろう？



第2回ワークショップ
11月25日

他のグループの人たちとも話し合い、
アイデアを膨らませよう！



第3回ワークショップ
12月9日

取組アイデアの内容を深め、発表の準備をしよう！

当日のプログラム

はじめに	10:00~
選手入場	10:15~
選手宣誓	10:20~
プレイボール	10:25~
プレゼンテーション	10:30~
	11:30
投票・結果発表	11:30~
ヒーローインタビュー	11:50~
おわりに	11:55~

まちづくり甲子園のねらい

長久手市学生まちづくり甲子園は、長久手に在住、通学している高校生、大学生が、若者の視点で、まちづくりのアイデアを考えてもらう取組です。取組を通じて、未来のまちづくりの担い手である学生たちにとって、まちづくりを身近なものに感じてもらうためのきっかけとなります。そして、発表されたアイデアは、今後市民まちづくりプラン*を作成する際に具体的なアイデアとして検討を進めていきます。

※「市民まちづくりプラン」とは、目指すべき未来に向かって市民の皆さんで取り組む内容をまとめたものです。

イベント直前の選手達

本番まであと30分、最後の準備の様子。選手たちはそれぞれ、ぎりぎりまで発表の練習をしていました。選手たちの緊張感が伝わってきます。



僕たちトップバッター



最後のさいごまで練習



徹夜で準備したふたり

選手入場と宣誓

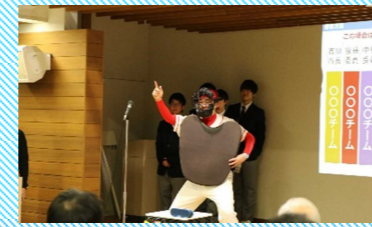
選手たちは甲子園さながらにプラカードを持って入場しました。そして、奥田さんの選手宣誓により、会場は一気にヒートアップ！審判長の大きな声「プレイボール！！」の掛け声で、学生たちのアイデアの熱戦の火ぶたが切られました。



甲子園さながらの入場



選手宣誓
栄徳高校ボランティア部 奥田さん



プレイボール！

発表や投票の様子

それぞれの発表後に、審査員の方々からそれぞれアドバイスをいただきました。そして、全チームの発表が終わったあと、審査員と観覧者による投票を行い、ベストアイデア、第2位、第3位を選出しました。



審査員からのアドバイス



市長「ぜひ実現してね」



わたしも1票！

プレゼンテーション

参加6チームのそれぞれの持ち時間は10分間、選手たちは4か月かけて考えたまちづくりのアイデアを『若者ならではの』の視点で発表しました。長久手のまちづくりのことを真剣に考え、向き合ってきたことがよく表れており、笑いあり、涙ありの素敵なプレゼンテーションになりました。

ながつぴーず (長久手高校1年生有志チーム)



こんなことに取り組みます！

様々な人と一緒にプレーパークをつくることで、自然から多くのことを学び、「自然」と「人」が共に育ち、育て合います。

栄徳高校生徒会チーム



こんなことに取り組みます！

今ある自然を未来につなぐため、「長久手四季計画」と題して、長久手の自然の魅力を広めるためのイベントを季節ごとに実施します。

NUASBOYS (名古屋学芸大学デザイン学科チーム)



こんなことに取り組みます！

学生たちの特技や知識をまちづくりに活かすため、地域と学生をマッチングさせる学生組織「ボクラモ」を立ち上げます！

栄徳高校ボランティア部



こんなことに取り組みます！

高校生が中心となって、「長久手子どもつながり部」をつくり、多世代のつながりや交流を生み出す取り組みを実施します。

Baby♥♥ (愛知淑徳大学子ども福祉学科チーム)



こんなことに取り組みます！

親が子どもたちに愛(気持ち)を伝えられる親子参加型のイベントを実施したり、遊びを通して子どもたちが人権について学べる企画を実施します。

ちーむどなべ (学生団体 Donabenet in あいち)



こんなことに取り組みます！

誰もが好きな「食」をテーマにして、「食」+αの取組(給食と一緒に食べる+地域の伝統料理を伝えるなど)を実施します。